

PSTNのNGNへのマイグレーションに対する課題

2011年6月17日
社団法人 テレコムサービス協会

PSTNユーザの現状とIP網への移行促進策

- ブロードバンドに魅力を感じるユーザは、既にPSTNからの移行を完了
- 現状のPSTNユーザは、特に不便を感じていないだろう

今のままでは、今後は自発的にIP網へ移行するユーザは、ほとんど増えないと考えられる

1. お客様によるIP網への自立的な移行を促進

- ① 様々な**魅力あるサービス**が出現する環境の整備
- ② 加入電話/INSより**安い料金**による提供
- ③ IP網への**移行時の技術的な課題**の解決

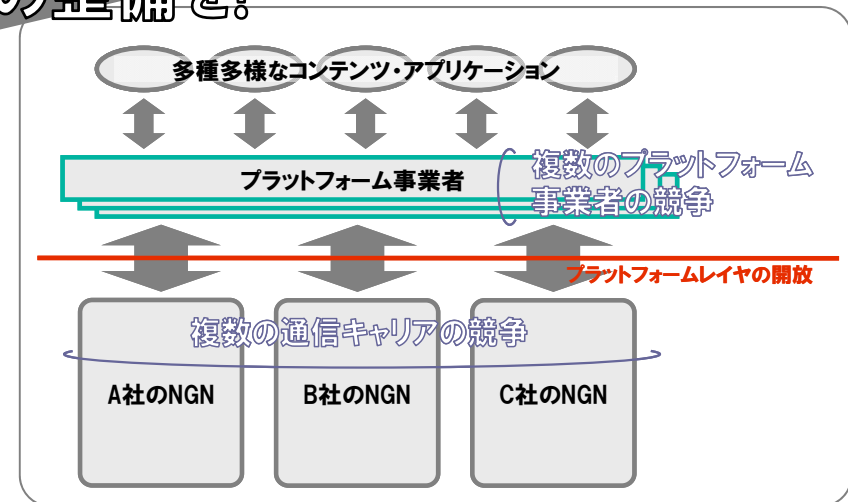
2. 強制的な移行

NGNのオープン化で適切な競争環境を実現すべき

- NTT東西だけがサービスを提供するNGN
- NGN上で簡単にアプリケーションサービスを開始できる
インタフェースがない

適切な競争環境の整備を!

- NGNをオープン化とプラットフォームレイヤの開放で、複数の通信キャリア、複数のプラットフォーム事業者が競争する環境へ!!
- 魅力あるサービスは、特定の業界、特定の地域、特定のコミュニティ向けなど小規模なサービスから始まる...



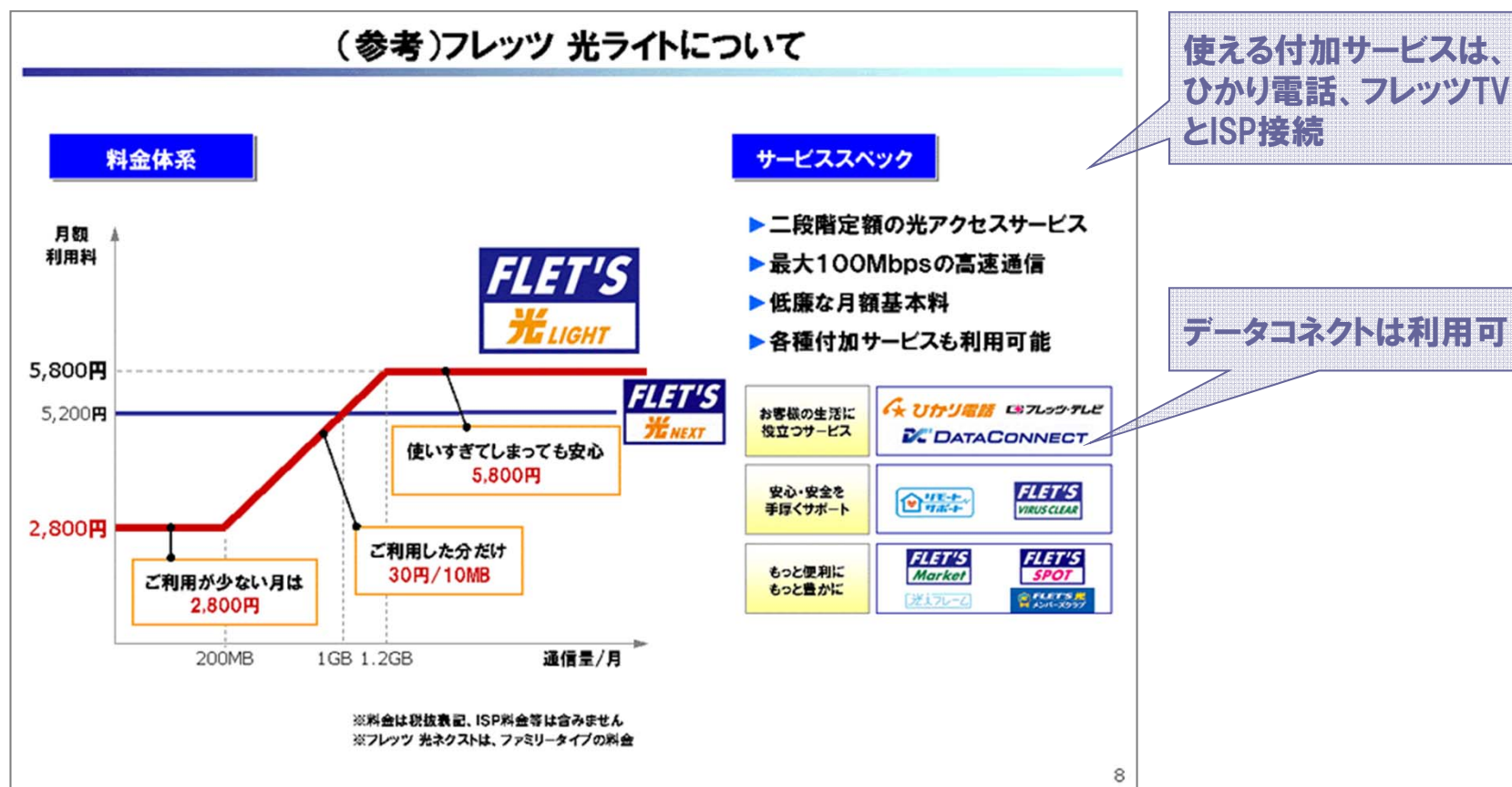
多種多様なサービスが出現する環境へ

NGN上に登場した安価なサービスメニュー

● 基本料金を抑えたフレッツ光ライト

→NTT東日本が2011年6月からサービス開始

→3月の発表時には、「NTT西日本でも同様のサービスを2011年度中に提供」と説明



IP網への移行促進のためには、より安いメニューが必要

● 基本料金の比較

NTT東日本のWebページ「Web116.jp」における記述より
(<http://web116.jp/phone/fare/kihonryou.html>)

区分	基本料(月額)	備考
加入電話(住宅用)	1,450円	ダイヤル回線用かつ1級取扱所の場合
加入電話(事務用)	2,300円	ダイヤル回線用かつ1級取扱所の場合
INSネット64(住宅用)	2,780円	
INSネット64(事務用)	3,530円	
フレッツ光ライト	2,800円	

※屋内配線使用料などのその他の費用は含まない

● NGN上で、加入電話より安いメニューが必須

→フレッツ光ライトはINS64と同様、同時に2チャンネル使えるが・・・

→別に、1チャンネルだけでも構わないと思う

FAXの透過性とINS回線専用の使い方

● 技術的な解決策の有無と解決するためのコストの問題

FAX通信の透過性

- 中小企業での受発注業務などにおいては、今でもFAXに依存している場合が多い
- IP網への移行時には、技術的な検証に加えて、加入者に対する十分な説明と周知が必要

小規模店舗などでのINS回線の利用

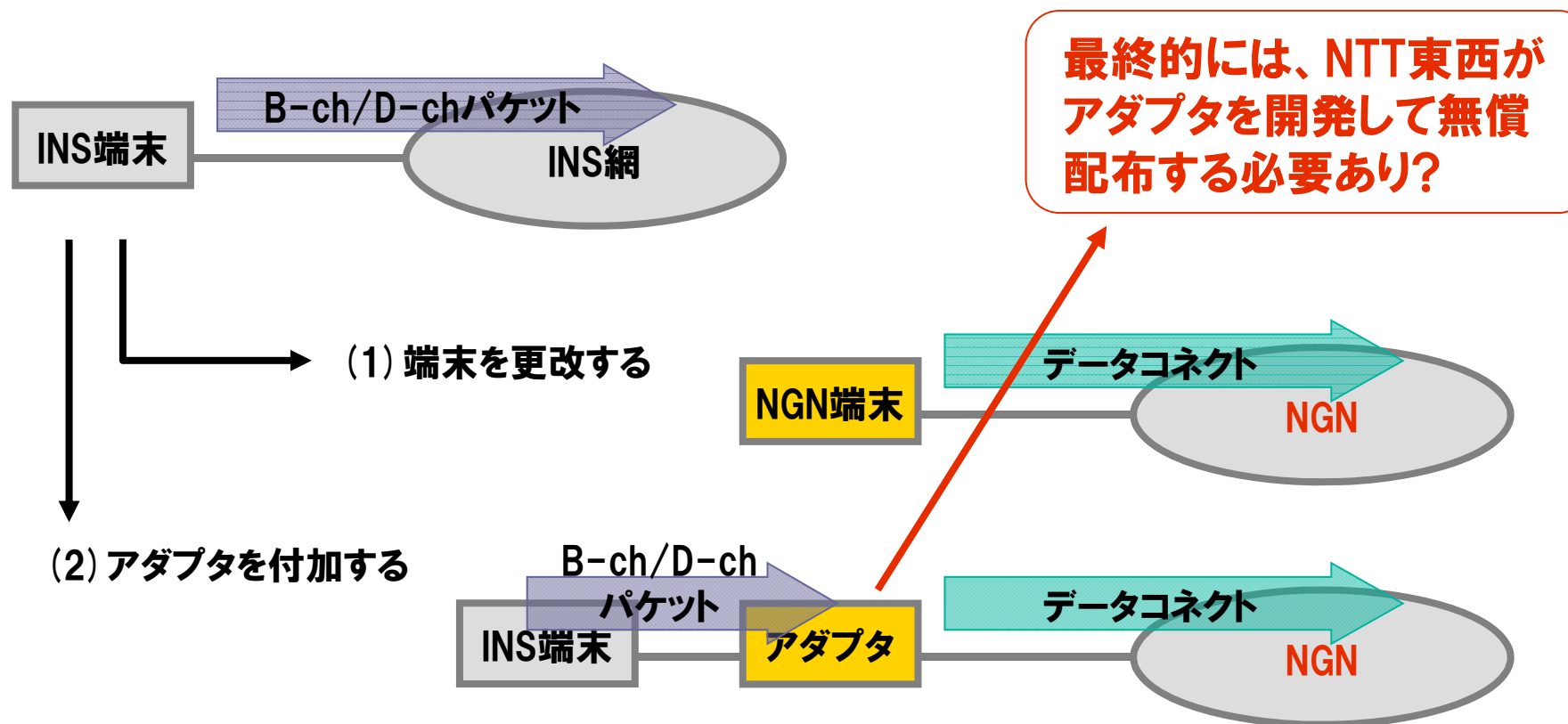
- クレジットカードの決済端末、セキュリティ端末、POSなどを専用のINS回線で利用しているケースが多い
- NGNのデータコネクで対応可能だとしても、機器の更改などのコストがかると加入者としては受け入れられない

INS回線のNGNへの移行の課題

●INS回線におけるパケット通信の利用

→ 決済端末などにおけるBチャンネル/Dチャンネルパケットの扱い

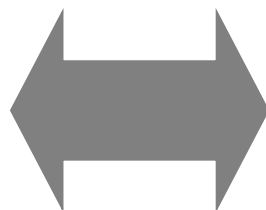
→ NGN内ではデータコネクが使用できるが・・・



PSTN/IP網並存とアダプタ無償配布のコスト比較

- ・IP網/NGN上での新たな魅力あるサービスの提供
- ・PSTNと同等サービスをより安い料金で提供

PSTNとIP網が長期的に
並存することによる維持
管理コスト増



アダプタなどを無償配布
するコスト負担

- ・維持管理コストを考慮し、強制的な移行へ
- ・スピード感を持ち、納得できる情報公開と共に進めることを望みます!